

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	芦屋市立朝日ヶ丘小学校 教諭 西田 麻衣子	研究グループ名 (WAKATE 研)
-----------------	--------------------------	-------------------------

研究テーマ分類番号 (17)

(1)研究テーマ
教職員としての資質と実践的指導力を高める
(2)研究経過及び具体的な取組
<p>4月11日 第1回研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内 容： 学級経営についての取り組みの交流。 参観・懇談会の内容の検討。 ・成果と課題： それぞれの思いや、クラスの状況を知ることができた。 若手で交流することで、学級経営に関する不安を軽減することができた。 今後は、教師の資質向上のために、より具体的な内容での研修が必要である。 <p>7月 9日 第2回研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内 容： 1学期の取り組みの交流を行う。 通知表の記入について、表記上の留意点を確認する。書きづらい点について相談する。 ・成果と課題： 学習が定着しにくい子どもへの指導について、学校長より指導助言を受け、理解が深まった。 評価の在り方について先輩教師から講話を聞いた。評価は、教師自身の通知表でもあるので、指導不足の点を認識することになる。指導不足の点については、夏休みの補充学習の際に指導したり、教材研究を深めたりすることで補うことを確認することができた。教師の指導力を高めていく必要性を痛感した。 <p>8月27日 第3回研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内 容： 環境教育について - 本校の実践より ・成果と課題： 先輩教師が、芦屋川における環境学習を行った際の授業写真を見て、学習活動の様子をよく理解できた。 第3学年の児童が、保育所や幼稚園で環境学習の成果を発表することを行うと、第3学年の児童の学習意欲が継続するので、効果的であることを学ぶことができた。このような環境学習の発表は、本校では、7年目を迎え、学習発表を聞いた園児が、3年生になって学習している。保育所や

幼稚園で発表を聞いた経験を思い出す発言も3年生からあるので、学習発表を継続していくことが大切であることを確認することができた。

環境教育で子どもを引率する場所にまだ行ったことがない若手教員も多いので、若手教員で現地調査に行き、より理解を深める必要がある。

10月22日 第4回研修会

- ・内 容：教室環境についての交流
- ・成 果： 各教員の教室を巡回し、机の配置等、本校の研究テーマでもある「聴き合い」について交流し合うことができた。
クラスの実践を掲示することが、クラスの温かい雰囲気づくりにつながることを学ぶことができた。
- ・今後の取組：教室での安全管理についても意見交流を行いたい。

11月 1日 第5回研修会

- ・内 容：2校時 第2学年2組 国語科公開授業研究
単元名：「お手紙」を読んで、読書発表会をしよう
- ・講 師：同志社大学講師
- ・成 果：次の4項目について学ぶことができた。
チョークの色分けは決めて1年間同じにすること
ふりかえりはポイントを決めて書くこと
読みを音読劇にするには動作化も必要であること
つぶやきをひろい、子どもたちに広げていくことが大切であること

11月26日 第6回研修会

- ・内 容：2学期の取り組みについて 期末個人懇談に向けて
- ・成 果： 個人懇談会で保護者に子どもの頑張りや課題を伝える際の工夫について、先輩教師から学ぶことができた。
学年で取り組む行事で若手が担っていく役割や、どのような姿勢で取り組んでいけば良いかについて、学校長より指導を受け、理解を深めることができた。